

到達目標 修士課程

<研究者コース>

知識・理解・専門的能力

- 1) 各自の専門分野について、引き続き博士後期課程において研究を深化させるうえで必要な、基盤的な知識を身につけ、当該分野の学問体系を理解する。
- 2) 各自の専門分野について、引き続き博士後期課程において研究を深化させるうえで必要な、研究遂行の基本的な能力を身につける。

汎用的能力・態度・志向性

- 1) 高い倫理性・社会性の陶冶：学術研究の社会的役割について、真摯に向きあう姿勢を養う。
- 2) 高い国際性の育成：グローバル化のなかで、多様性を尊重し、国境の枠を超える視点を養う。
- 3) 専門的研究を自律的・主体的に遂行する能力の育成：学術研究の技能と専門領域の基盤的な体系に関する知識を身につける。
- 4) 柔軟で批判的・創造的な思考力の涵養：専門研究領域の体系を基盤に、先端的な問題領域を主体的に切り拓き、発信していく姿勢を養う。

<専修コース>

知識・理解・専門的能力

- 1) 各自の専門分野について、実務の場でルール形成や政策形成をリードするうえで必要な、学士課程よりも専門性の相対的に高い知識を、体系的に理解する。
- 2) 各自の専門分野について、実務的要請に応える調査・分析の基本的な能力を身につける。
- 3) 職業人選抜者においては、実務的な経験を通じて習得した知見を、学術体系の学習を通じて相対化・体系化して理解し、すでに習得した実務的能力の基盤のうえに、さらに調査・分析の基本的な能力を身につける。

汎用的能力・態度・志向性

- 1) 高い倫理性・社会性の陶冶：学術研究の社会的役割について、真摯に向きあう姿勢を養う。
- 2) 高い国際性の育成：グローバル化のなかで、多様性を尊重し、国境の枠を超える視点を養う。
- 3) 専門的研究を自律的・主体的に遂行する能力の育成：学術研究の技能と専門領域の基盤的な体系に関する知識を身につける。
- 4) 柔軟で批判的・創造的な思考力の涵養：専門研究領域の体系を基盤に、先端的な問題領域を主体的に切り拓き、発信していく姿勢を養う。

＜国際コース＞

知識・理解・専門的能力

1) 英語による課程を通じて、各自の専門分野について、引き続き博士後期課程において研究を深化させるうえで必要な、基盤的な知識を身につけ、当該分野の学問体系を理解する、ないしは実務の場でルール形成や政策形成をリードするうえで必要な、学士課程よりも専門性の相対的に高い知識を、体系的に理解する。

2) 英語による課程を通じて、各自の専門分野について、引き続き博士後期課程において研究を深化させるうえで必要な、研究遂行の基本的な能力を身につける、ないしは各自の専門分野について、実務的要請に応える調査・分析の基本的な能力を身につける。

汎用的能力・態度・志向性

1) 高い倫理性・社会性の陶冶：学術研究の社会的役割について、真摯に向きあう姿勢を養う。

2) 高い国際性の育成：グローバル化のなかで、多様性を尊重し、国境の枠を超える視点を養う。

3) 専門的研究を自律的・主体的に遂行する能力の育成：学術研究の技能と専門領域の基盤的な体系に関する知識を身につける。

4) 柔軟で批判的・創造的な思考力の涵養：専門研究領域の体系を基盤に、先端的な問題領域を主体的に切り拓き、発信していく姿勢を養う。

到達目標 博士後期課程

<研究者コース>

知識・理解・専門的能力

- 1) 各自の専門分野について、学位論文を執筆し、引き続き自律的に研究をおこなっていくために必要な、より広範で体系的な知識を身につけ、当該分野に留まらない、より広い学問体系への造詣を深める。
- 2) 各自の専門分野について、学位論文を執筆し、引き続き自律的に研究をおこなっていくために必要な、より高度な研究遂行能力を身につける。

汎用的能力・態度・志向性

- 1) 高い倫理性・社会性の陶冶：学術研究の社会的役割について、真摯に向きあう姿勢を養う。
- 2) 高い国際性の育成：グローバル化のなかで、多様性を尊重し、国境の枠を超える視点を養う。
- 3) 専門的研究を自律的・主体的に遂行する能力の育成：高度な学術研究の技能と専門領域の体系に関する広範で包括的な知識を身につける。
- 4) 柔軟で批判的・創造的な思考力の涵養：専門研究領域の体系を基盤に、先端的な問題領域を主体的に切り拓き、発信していく姿勢を養う。

<高度専門職業人コース>

知識・理解・専門的能力

- 1) 実務的な経験を通じて習得した知見と課題にもとづき、各自の専門分野について、学位論文を執筆し、引き続き自律的に、実務と学術研究の分野を架橋する研究をおこなっていくために必要な、体系的な知識を身につけ、学問体系への造詣を深める。
- 2) 実務的な経験を通じて習得した知見と課題にもとづき、各自の専門分野について、学位論文を執筆し、引き続き自律的に、実務と学術研究の分野を架橋する研究をおこなっていくために必要な、より高度な研究遂行能力を身につける。

汎用的能力・態度・志向性

- 1) 高い倫理性・社会性の陶冶：学術研究の社会的役割について、真摯に向きあう姿勢を養う。
- 2) 高い国際性の育成：グローバル化のなかで、多様性を尊重し、国境の枠を超える視点を養う。
- 3) 専門的研究を自律的・主体的に遂行する能力の育成：高度な学術研究の技能と専門領域の体系に関する広範で包括的な知識を身につける。
- 4) 柔軟で批判的・創造的な思考力の涵養：専門研究領域の体系を基盤に、先端的な

問題領域を主体的に切り拓き、発信していく姿勢を養う。

＜国際コース＞

知識・理解・専門的能力

- 1) 英語による課程を通じて、各自の専門分野について、学位論文を執筆し、引き続き自律的に研究をおこなっていくために必要な、より広範で体系的な知識を身につけ、当該分野に留まらない、より広い学問体系への造詣を深める。
- 2) 英語による課程を通じて、各自の専門分野について、学位論文を執筆し、引き続き自律的に研究をおこなっていくために必要な、より高度な研究遂行能力を身につける。

汎用的能力・態度・志向性

- 1) 高い倫理性・社会性の陶冶：学術研究の社会的役割について、真摯に向きあう姿勢を養う。
- 2) 高い国際性の育成：グローバル化のなかで、多様性を尊重し、国境の枠を超える視点を養う。
- 3) 専門的研究を自律的・主体的に遂行する能力の育成：高度な学術研究の技能と専門領域の体系に関する広範で包括的な知識を身につける。
- 4) 柔軟で批判的・創造的な思考力の涵養：専門研究領域の体系を基盤に、先端的な問題領域を主体的に切り拓き、発信していく姿勢を養う。